



SkyVisualEditor

V15.0 バージョンアップ リリースノート



最終更新日：2021年6月21日

はじめに

リリースノートでは SkyVisualEditor の主要な新機能や既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能、機能強化には既存環境に影響を与える可能性のあるものがあります。影響があるアップデートについては、**重要な更新** のマークをつけていますので、ご利用中の画面への影響について、十分にご検討いただけますようお願いいたします。尚、より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトを参照ください。

ヘルプサイト：

SkyVisualEditor ポータル <https://doc.terrasky.com/display/SVEPP4JA/Home>

SkyVisualEditor VF <https://doc.terrasky.com/display/SVE4JA/Home>

SkyVisualEditor LC <https://doc.terrasky.com/display/SVELC4JA/Home>

目次

V15.0 機能追加	4
1. SkyVisualEditor VF 機能追加.....	4
1.1 電子印鑑機能の追加	4
2. SkyVisualEditor LC 機能追加.....	6
2.1 パネルグリッドが新登場 ユニットや項目の詳細な位置指定が可能に	6
2.2 項目名表示ラベルの変更や非表示が可能に	7
2.3 選択リストと参照関係型項目がデータテーブル上で編集可能に.....	8
2.4 データテーブルの配置項目に接頭語/接尾語の設定が可能に	9
重要なお知らせ	10
IE(Silverlight)版 Studio のサポート終了について.....	10
V14.2 バージョンアップにおける JavaScript ライブラリ更新について.....	10

V15.0 機能追加

1. SkyVisualEditor VF 機能追加

SkyVisualEditor VF における機能追加は下記の通りです。

1.1 電子印鑑機能の追加

Windows版Studio

ページ上に簡単に押印が可能となる電子印鑑機能（ハンコ項目）が追加されました。

電子印鑑機能を使用することで、承認プロセスの承認者名や押印実行したユーザ名の印影画像をレコードに保存し、ページ上に表示することができます。

印影画像は形状（丸形/角形）・色・日付の有無などをカスタマイズ可能です。また、印影画像は承認者名やログインユーザ名から自動生成されるため、「ハンコをスキャンして画像データ化しSalesforce にアップロードする」といった手間も必要ありません。

本機能は、既存のSVE ページにハンコ項目を配置するだけでご利用いただけます。

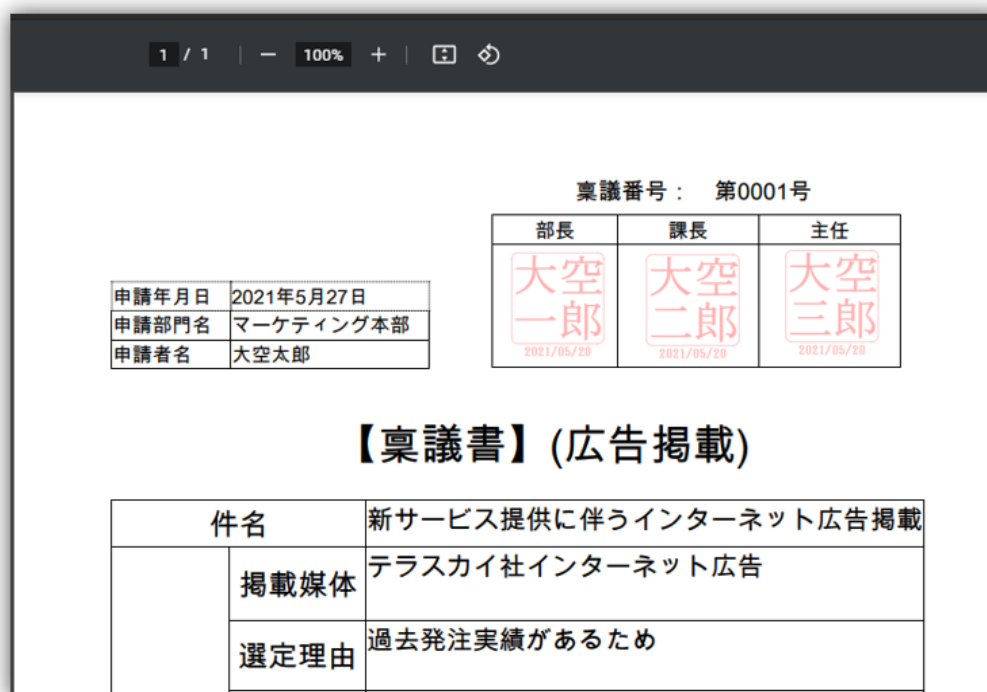


図 1-1 PDF 機能で作成したページ上に表示された印影画像



図 1-2 Studio 上でのハンコ項目設定手順と印影画像のカスタマイズ例

※本機能は Windows 版 Studio でご利用いただけます。IE 版 Studio ではご利用いただけませんのでご注意ください。

2. SkyVisualEditor LC 機能追加

SkyVisualEditor LC における機能追加は下記の通りです。

2.1 パネルグリッドが新登場 ユニットや項目の詳細な位置指定が可能に

LC版Studio

新ユニット「パネルグリッド」が追加されました。幅や高さ・スタイルを指定して、各セル単位でユニットや項目を配置することができます。

これまで実現できなかった「ユニットや項目の細かい位置の指定」や「スタイル設定による背景色や整列位置の指定」などができるようになり、コンポーネントの表現の幅が広がりました。

契約者情報をご入力ください	
※契約者情報をご登録の前に、サービス利用案内をご確認ください	
ご契約者名	姓 名 大空 太郎
ご契約者名(フリガナ)	姓 名 オオソラ タロウ
電話番号	03-5255-3410
メールアドレス	support@terrasky.co.jp
メールアドレス(確認用)	support@terrasky.co.jp
保存	

図 2-1 パネルグリッドを使用して作成されたコンポーネント

2.2 項目名表示ラベルの変更や非表示が可能に

LC版Studio

配置されたオブジェクト項目の項目名表示ラベルの変更や非表示化が可能になりました。

項目名表示ラベルと項目本体を分けて配置することが可能となったため、前述したパネルグリッドと組み合わせることで、複数の項目を一つのラベルでまとめて表現するなど、より情報が整理されたコンポーネントを作成できるようになります。

The screenshot shows a form component with a blue header and a white body. The header has four columns: '郵便番号' (Postal Code), '都道府県' (Prefecture), '市区群' (City/Town/Village), and '町名・番地' (Municipality/Block/No.). The '納入先住所' (Delivery Address) row contains: '103-0027' (with a search icon), '東京都' (Tokyo), '中央区' (Chiyoda-ku), and '日本橋二丁目11番2号' (Nipponbashi 2-chome 11-2). The '請求先住所' (Billing Address) row contains: '541-0043', '大阪府' (Osaka Prefecture), '大阪市中央区' (Osaka City Chiyoda-ku), and '高麗橋4-2-16' (Koremashijo 4-2-16). A '保存' (Save) button is located at the bottom left.

	郵便番号	都道府県	市区群	町名・番地
納入先住所	103-0027	東京都	中央区	日本橋二丁目11番2号
請求先住所	541-0043	大阪府	大阪市中央区	高麗橋4-2-16

図 2-2 複数項目を1つのラベルでまとめて表現したコンポーネント

2.3 選択リストと参照関係型項目がデータテーブル上で編集可能に

LC版Studio

データテーブルの項目インライン編集機能が強化され、選択リストと参照関係型項目が編集可能になりました。より便利になったデータテーブルをご利用いただけます。

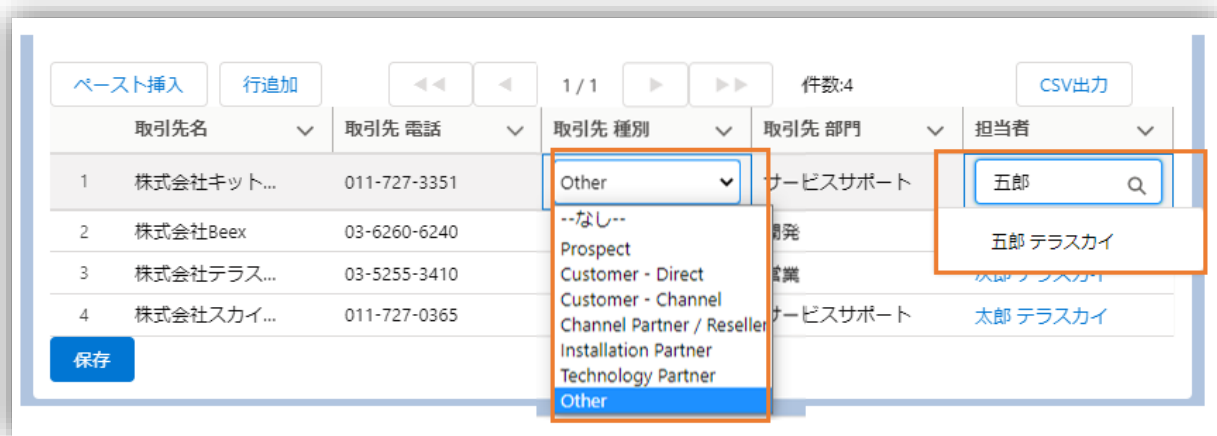



図 2-3 データテーブル上における選択リストと参照関係型項目のインライン編集

2.4 データテーブルの配置項目に接頭語/接尾語の設定が可能に

LC版Studio

データテーブル上に配置した各項目列に接頭語/接尾語の設定が可能になりました。

数値系項目への単位表示など、データテーブル上での項目値の表示をより分かりやすく表現することができます。



The screenshot shows a data table with 5 rows and 6 columns. The columns are: 中古車ID, 価格, 排気量, 色, and 走行距離. The values in the '排気量' and '走行距離' columns are displayed with unit suffixes: '660cc', '1,800cc', '660cc', '1,800cc', '1,800cc' and '10,000Km', '4,000Km', '3,000Km', '12,000Km', '20,000Km' respectively. The '排気量' and '走行距離' columns are highlighted with orange boxes to show the unit suffixes.

	中古車ID	価格	排気量	色	走行距離
1	D001	¥2,000,000	660cc	赤	10,000Km
2	S001	¥1,500,000	1,800cc	黒	4,000Km
3	D002	¥1,200,000	660cc	黒	3,000Km
4	D003	¥800,000	1,800cc	白	12,000Km
5	A001	¥1,000,000	1,800cc	白	20,000Km

図 2-4 接尾語 (cc・Km) が表示されたデータテーブル

重要なお知らせ

SkyVisualEditor をご利用の皆さまに知っていただきたい重要なお知らせについて記載します。

IE(Silverlight)版 Studio のサポート終了について

SkyVisualEditor VF の IE 版 Studio 動作環境である Microsoft Silverlight は、

2021 年 10 月 12 日に Microsoft 社のサポートが終了します。

これに伴い、**IE 版 Studio は 2021 年 10 月 12 日 にてサポート終了を予定しております。**

ご不便をおかけして申し訳ございませんが、後継サービスである Windows 版 Studio への移行のご協力をお願い申し上げます。

詳細については、下記ヘルプドキュメントをご参照ください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=74680419>

V14.2 バージョンアップにおける JavaScript ライブラリ更新について

SkyVisualEditor VF は 2021 年 3 月 7 日に AppExchange パッケージ V14.2 をリリースしました。

V14.2 ではセキュリティ向上のため、SkyVisualEditor VF パッケージに含まれる JavaScript ライブラリ (jQuery) の更新を行っております。

サービス機能面の更新ではございませんが、今後の SkyVisualEditor VF の提供において、より安心してユーザの皆さまにご利用いただくための施策となります。

この更新により V14.2 以降のパッケージを使用すると、**拡張スクリプトを使用しているページで動作影響する場合があります**、その際は拡張スクリプトの修正が必要となります。

ご不便おかけして申し訳ございませんが、影響確認および修正のご協力をお願い申し上げます。

詳細については、下記ヘルプドキュメントをご参照ください。

<https://doc.terrasky.com/pages/viewpage.action?pageId=68457589>

SkyVisualEditor V15.0 バージョンアップ リリースノート

SkyVisualEditor V15.0 バージョンアップ リリースノート

株式会社テラスカイ

URL : <https://www.terrasky.co.jp>

お問い合わせ : <https://terrasky.secure.force.com/ProductSupport>
